



## 神戸空港にてロボット接客の実証実験を実施 ～遠隔対話ロボットによる接客で、空港内の魅力を発信します～

関西エアポート神戸株式会社は、2021年9月17日（金）より、神戸空港で複数の遠隔対話ロボットによる、案内および接客等の実証実験を実施することをお知らせします。

当実証実験は、株式会社サイバーエージェントの研究開発組織「AI Lab」と大阪大学大学院基礎工学研究科により、ムーンショット型研究開発事業<sup>(※)</sup>の一環である「ロボットによる次世代サービスの実現」をテーマとした実証プロジェクトとして行われるものです。

2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据え、玄関口となる関西3空港においては、国内外からのお客様をおもてなしするため様々なサービスを提供することを模索しています。今回の実証実験では、空港各所に設置された遠隔対話ロボットを通してお客様の案内・接客を行い、隅々まで行き届いた「おもてなし」を行うとともに空港内の回遊を促進することで、より一層のお客様の満足度向上・顧客体験の創出をめざします。

関西エアポートグループは、これからもお客様がワクワクするような催しを通じて空港内の魅力を発信し、お客様に新たな旅の体験を提供してまいります。

※ムーンショット型研究開発事業

超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的な研究開発を推進する制度。「AI Lab」と大阪大学大学院基礎工学研究科の共同研究講座では、石黒浩教授がプロジェクトマネージャーとして推進しているプロジェクト「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」の一環として、現時点での最新技術によるアバターロボット接客の実現可能性と課題の模索を目的に、様々なフィールドで実証プロジェクトを進めています。

### 【実証実験の概要】

- 内 容 複数の遠隔対話ロボットによる、案内およびメニュー推薦等の実証実験  
※10体のロボットを空港内の様々な箇所に設置し、2名のスタッフがロボットを通して遠隔で案内やお勧めのメニューの紹介などを行います。
- 期 間 2021年9月17日（金）～9月26日（日）
- 場 所 神戸空港ターミナルビル2～3階
- 主 催 株式会社サイバーエージェント、国立大学法人大阪大学大学院基礎工学研究科
- 協 力 関西エアポート神戸株式会社

その他、同期間中、ターミナルビル1階到着フロアにおいて約10体のロボットによるお客様のお出迎え（Welcoming コンテンツの実演）もあわせて行います。



### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12か国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構